

特集 I ニューガラスフォーラム 20 周年記念

ご挨拶：(株)新エネルギー・産業技術総合開発機構より

NEDO 研究開発プロジェクトの実施を通して

新エネルギー・産業技術総合開発機構

参事 本城 薫



(株)ニューガラスフォーラムが 20 周年を迎えられましたことに対し、心よりお喜び申し上げます。また、ニューガラスセミナー、各種研究会、若手懇談会等の事業を通じ新素材として注目されるニューガラスの進化に大きな貢献をされていることに対し改めて敬意を表する次第であります。

NEDO は、公的資金を活用し個々の民間企業だけでは実施できないリスクの高い次世代の研究開発を推進していますが、(株)ニューガラスフォーラムは NEDO が推進するナノテク・材料分野の研究開発プロジェクトにおいて重要な役割を担っています。

NEDO の「ナノガラス技術」プロジェクトは、ナノレベルで構造を制御することにより、全く新しい機能を発揮するガラス材料創製のための基盤技術を開発するものですが、2003 年 4 月の中間評価において極めて高い評価を得ているように(株)ニューガラスフォーラムはその実施者として大きな成果を挙げています。ご承知のように 2004 年 6 月の産学官連携推進会議においては本プロジェクトの成果を踏まえ、京都大学平尾先生、産業技術総合研究所西井研究グループ長、(株)ニューガラスフォーラム田中研究開発部長の三名の方々が産学官連携「経済産業大臣賞」を受賞されました。この受賞はお三方のご努力はもちろんですが、プロジェクトに参加されている方々全員のプロジェクトにかける熱意の賜であります。重点技術分野におけるイノベーションの進展や新規産業の創出を実現していくためには産学官連携が必要であります。このような産学官連携の場を提供するという(株)ニューガラスフォーラムの役割は今後益々重要になると思います。

さらに「ナノガラス技術」プロジェクトを母胎として、「デバイス用高機能化ナノガラスプロジェクト」および「ディスプレイ用高強度ナノガラスプロジェクト」の二つの実用化プロジェクトが生まれました。これら二つのプロジェクトの立案において(株)ニューガラスフォーラムは大きな貢献をされ、特に「デバイス用高機能化ナノガラスプロジェクト」についてはフォーラム自身がプロジェクト実施者としても活動されています。

一昨年 10 月に独立行政法人化した NEDO は「成果を挙げる NEDO」を標榜し、我が国の産学官の総力を結集して重要技術分野の研究開発プロジェクトを推進していますが、(株)ニューガラスフォーラムが実施されている「ナノガラス技術」プロジェクトは、未来の光情報通信、エネルギー・環境の各分野で世界をリードする新たな市場を開拓することが期待され、本プロジェクトの発展とともに(株)ニューガラスフォーラムの一層の飛躍を祈念いたします。